

第一講 評論文とは 〽筆者は臆病だ〽

入試現代文ではよく「評論文（論説文）」が出題されます。例えばセンター国語の大問1は評論文から出題されることがほとんどです。

（2013年度のように例外はありますが）

「難しい言葉ばっか」「結局何言いたいのかわかんない」評論文が苦手な人から良く聞くセリフですね。今回はそれが何故なのかという授業です。

そもそも評論文とは、

「  
」

主張をわかりやすくし、納得してもらうには？

↓説得力が必要〓 「  
」

が必要！

つまり、評論文とは

•  
•

でほとんどが構成されている。

←

その「  
」は

さらにざっくり2つに分けられる。

☆これはどんなテーマであっても同じ。  
主張のない文章はありえない！

↓ 「 「 「

「どっちが説得力がある？」

「お母さんに新しい携帯をおねだりしよう」

A 「おこづかいを増やして。」

B 「新しい本が買いたいし、Cちゃんももつとも

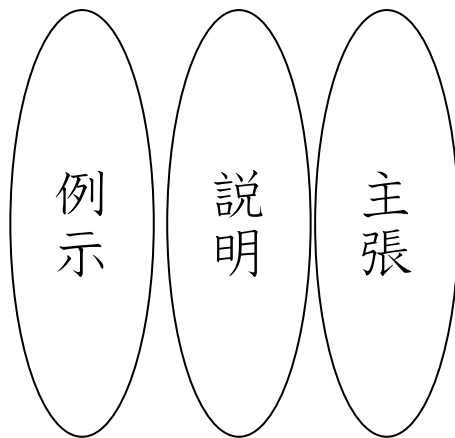
らってるからおこづかいを増やして。」

それはなぜか ↓ Aは 「 「なのに対し、

Bは 「 「が含まれているから！

評論もこれと同じで、相手（読者）を納得させるために書かれているのですから、これでもかというくらい補強してきます。具体例や引用が増えれば文章が長くなるし、読みづらくなりますよね。結局筆者が言いたいのは主張なのですから、そこを読み取ってあげればよいのです。

### 評論を支える3要素



今日はこの3つを必ず覚えてください！  
これから読み方を勉強して行く時にとっても重要なワードです！

NOTE